

都心において 地場産業に対応した 職業訓練を展開

東京都立中央・城北職業能力開発センター

設置・運営 ● 東京都
所在地 ● 東京都文京区後楽 1-9-5
設置コース ● OAシステム開発科、パソコングラフィック科、グラフィック印刷科、印刷企画営業科、DTP科、介護サービス科、医療事務科、ネットワーク構築科、貿易実務科
訓練期間 ● 1年コース及び6カ月コース

○都立公共職業訓練施設として

現在、東京都では、「中央・城北」「城南」「城東」「多摩」の4つのセンターと9つのフランチ校、及び東京障害者職業能力開発校で公共職業訓練を行っている。中央・城北職業能力開発センターの前身は、平成13年度に現在地に設置された飯田橋技術専門校である。

村松正夫訓練課長に同センターの訓練の概要について伺った。

「印刷系職種を中心として、求職者や転職者の方々に能力開発訓練を、事業主の方々には従業員に対する在職者向け能力向上訓練をはじめ、人材育成・確保支援事業等、総合的な支援業務を行っています。本校の施設内訓練に加え、民間教育機関に委託して多様な訓練も実施しています」

○地場産業や成長産業に対応した能力開発

同校には、印刷関連コースが体系的に設置されている。

「千代田区、文京区等の都心部には、印刷・出版関連の企業が多数立地しています。当校では、地場産業である印刷・出版関連業界への求職者に、就職に必要な知識・技能を習得させるとともに、無料職業紹介により就職に結びつけ、地域に密着した訓練となるよう努めています」(村松課長)

印刷業界でも、デジタル化の流れ

によって仕事の態様が大きく変化している。同校では、今日の技術革新に対応した訓練内容とし、最新の設備を備え、実際の現場に即した訓練を行っている。充実した設備は、企業向けの能力向上訓練でも使われるほか、企業が実施する教育訓練にも貸し出され、地域の人材育成を支援している。

また、OAシステム開発・ネットワーク構築といったIT関連、介護サービスや医療事務といった成長分野の訓練にも力を入れている。ユニークなところで貿易実務科が設置されているのも、場所柄だろう。

就職に当たり、公的資格の有無も大事な要件となっているので、同校では資格取得にも力を入れている。例えば、介護サービス科の場合、一定の基準以上の技術を修得すると「東京都介護職員基礎研修修了証」が取得できる。

○就職支援体制

同センターの就職支援体制について、就職支援推進員の友部勉氏は「本校の訓練は、訓練生が職業に必要な知識・技能・技術を身に付け、少しでも有利な条件で企業等に就職していただくことが目的であって、単に修了証書を与えるためのものではありません。」

訓練生の就職したいという熱意に応えるため、センターを挙げて就職支援

に当たっています」と話す。

現在、職業能力開発センター及び各校では、ハローワークに「無料職業紹介事業」の届出をして、直接企業等から受けた求人票により、「紹介状」を発行し、企業と訓練生との面接日程の調整を行うなど、きめ細かく支援している。

○合同就職面接会

同センターには、事業主団体・近隣自治体・ハローワーク・行政機関の五者からなる中央・城北職業能力開発連絡協議会という強力なバックアップ組織がある。村松課長は、「協議会の皆様のご協力を得て、合同就職面接会を開催しています。協議会の関連企業様もご参加いただいております。少しでも多く訓練生の就職が決まっていってほしいと思っています」と結ばれた。

